



縣議戰刻々に迫り 準備工作今や絶頂 政民各れも十日以内に 豫選會を開き候補決定

日頃幹部會を開き候補者を詮
衡し速くも本月中には豫選會
を開き正式公認候補を決定す
る等々此れに對し民政派中の
別動隊野崎滿藏氏の再出馬は
勿論部會としては公認三名を
擁立する事に決定してあるの
で政友同様二十六日前後まで
に豫選會を開き正式候補者決
定の運に至るものと見られる
が既に話題の人政民各五、六
名を数えて居り、豫選會まで
の此處十日間位が準備工作
の總頂で正式候補に推薦さ
れるものは果して誰れか興味
ある問題として非常に注目さ
れてゐる

白水 面目を新にした 誇るべき古建築 安藤子爵を名譽會長に推し 保存會を組織の計畫

石城郡内郷村の白水に遺る特
別保護建造物白水阿彌陀堂は
我が國内に誇るべき古建築物
として知られてゐる本年二月
起工の屋根の葺替に郡出身比
佐代議士等の盡力で一萬余圓
の總工費に對し政府から約九
割の補助を給せられ特別に迎
へた西京の工匠と材料によつて
此の程漸く竣工したる古風を

び郷土史の研究家諸根一氏
等を開き右を決定したる名は
また決定されず前記諸
根氏の草案に任されてゐるが
地元内郷村長を會長となし名
譽會長に安藤子爵を推して地
方有力者を賛助員に組織し同
會を中心として毎年一回ぐら
ゐる地方文化講演會を催す外
の活動には地方史に資するも
のが多いことであらう

生産者の無自覺で 仲買商に千五百圓 石城郡内に於て約二千俵

平町に縣穀檢支所を設置され
て以來米麥茶種類の受檢取引
を著しく普及し昨年の依米生
産檢査六萬五千八百二俵並に
移出檢査三萬四千二百二十八俵に
達し殊に小麥、茶種の生産増
加と同檢査高は非常な増加で
あつて去る七月中の檢査依數
は小麥に於て
平支所一七七六俵(三三九
勿來出張所一六〇九俵(六
三六)四倉同八七七俵(二
四六)合計四二六二俵(一
二二俵) 蕎麥内前年
茶種に於ては平一七三〇俵
(一五六一)勿來七一〇俵(一
八一)四倉一〇六一俵(六
九六)合計三三〇一(一三〇
七二) 蕎麥内前年
で既に小麥に於て三千四十一
俵、茶種では四百廿九俵の増
を示してゐるが遺憾なことは
未だ生産當業に目醒めぬもの
があることと小麥の如きは商
人の小買ひに集められるもの

日曜新聞 日曜新聞 日曜新聞
刊行一ヶ月二十五日
廣告料一円四十日
所指定 印刷部
發行所 石城郡平町大町二三
新刊 新刊 新刊

ゴールド、ラッシュは
黄金に突進する意、北
海道五十億圓金銀、
沈没船内の金塊引揚、
花巻金山の三十億圓、
伊豆田方金山の三百億
圓等々黄金の夢に呻吟
する時代の一世相を云

玉川の喜代次逃る 自殺すると遺書して 茨城縣阿字ヶ浦磯崎館に それらしい男女連れ投宿

平町飯沼町發放置屋玉川事國
府田直良方抱發放置屋代治こと
高田きよ(三)は去十二月前借
八百餘圓を踏み倒して逃走行
方を晦ましたが所待品を調べ
て見ると衣類の間に「茨城縣
阿字ヶ浦海岸で投身自殺す
る云々」の遺書が発見され
たので著くなつた主人は早速
平署を経て同地警察署に捜査
取り押え方を願ひ出たが去十
二日から十四日まで阿字ヶ浦
海岸磯崎館に投宿してゐた高

賭場に踏み込め 賭徒八名逃走す 赤井村で大花會開帳中

赤井村大字赤井字常住一三坑
夫宗像源五郎方で十五日午後
八時頃字畑子澤會田次郎(三
字不動堂細谷忠治(五)外八名
計十一名が十丹と稱する花合
賭博開帳中を警邏中の駐在巡
査が発見現場に踏み込み前記
三名は逮捕したが外八名は脱
走したと見られる節もある

御齋所時 第二期改修

縣道湯本石川線中の難所入遠
野村地内御齋所時も小林平土
木監督所長の熱心なる努力奏
へ設けた程である

出逃走した平署では今朝來
逃走者八名の逮捕に努めてる
水利稅滞納の
公賣執行
小川江と鉸川堰で
石城郡小川江及び鉸川堰組合
で賦課金徴收に警勵中であつ
たが最後の難物として九年度
の滞納小川江に於て平窪村福

自動車中に落ちてゐた ハンドバックに百圓 落とし主はナント女學生 運ちゃんへの禮金を値切る

湯本町湯本自動車部運轉手鈴
木四郎(三)君が昨十五日午後
五時頃湯本平間の乗合自動車
を運轉中終點に到着乗客
全部が降車して間もなく車内
を見たら腰かけの下に若い女
持ちらしいハンドバックがポ
ツンと一忘れ置かれてゐるの
を發見降車した客を一人一
尋ねて聞き通つたが遺失者が
現れないので助手君と二人
平署に此の品を届出たので係
官立會の下に開いて見ると手
の切れる様な拾得紙幣が九枚
と五圓紙幣一枚、十圓紙幣二
十五圓計九十五圓二十五錢の
大金が現れたのでビックリ

勿論新聞雜誌等幾多の機關に
於て又心ある政治家、教育家
等が此の政治教育の必要なこ
とに就て絶叫された事は、余
の知る範圍内だけでも頗る
多数に上つてゐる、然るにも
拘はらず實績の思ふ様に舉ら
ないのは如何にも遺憾千萬で
ある、
イギリスに於ても第十九世紀
の頃には買収等の弊があつ
たが、識者はこれを憂ひ、嚴
重なる法律を制定し、政治家

一 票汚れ
て國汚る (七)
中央報徳會
其の他日本青年團聯合會を
初め各種の教化團體が夫々種
々の方法を講じて政治教化の
ため努力し來つた、田澤義雄
君の如きは夙に昭和三年來選
舉修正に關する精神的の會さ
へ設けた程である

産業方面

合成醬油の造り方

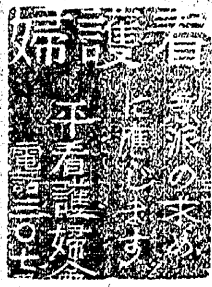
一升廿錢で出来る
 自家用醬油の醸造は農家經營の一端を助けるもので既に本縣でも奨励されてゐるところだが農山村の副業指導に力を入れてゐる青森營林局では昨年以來栗、ナメコ、筍、ゼンマイ等の水蒸氣蒸餾及び罐詰等の製造を指導奨励してゐる。同地方に對し此程來自家用合成醬油の造り方を指導してゐるが此の製造方法は次の如きものである。

- 甲、合成醬油製造法
 水、一リットル(五合九勺)
 酒石酸(又はクエン酸)一グラム(二分六六七)
 赤ザラメ砂糖、四〇グラム(十匁六六七)
 食鹽(又は燒鹽)一五〇グラム(四匁)
 乙、ソヤメント(大豆の素)七五立方センチ(四勺余)
 味の素、二グラム(五分三三四)
 丙、カラメル(又は黒砂糖の燒いたもの)適宜
 ガンゾーエキスの汁適宜
 以上三種の材料を揃へ(甲)を鍋に入れトロ火にかけてかきまはしよく混ぜてとがす。此の際に決して沸騰しない様に氣をつける充分とけてから(乙)を混ぜて又トロ火にかきよく溶かしたらうへ着色する爲め(丙)を混入するが各人嗜好により適當に入れ、ばよく更に其中に普通の醬油を五十立方センチ(約二勺八分)ばかり入ると一段と風味がよくなる。

以上で合成醬油約六合が出来るが製造に要する時間は僅かに卅分位であるしかして一升分の費用は約廿錢で足ることの合成醬油製造中に唐辛子一二個を入れて置くとか色が出來ない、尚ほ食用に供する本當の風味は出來てから二、三日過つた方がよい。
 合成醬油の材料價格はソヤメント一樽(四リットル)約二圓六十錢カラメル一罐(一ポンド)約廿五錢、カンゾーエキス(實價不定であるが各地藥店にある)終り

町屋紺町 藤沼醫院

電話 五〇七番



清爽簡易な
 サンマードレス
 婦人用ごお子さん用
 特價品豊富陳列
 ツルヤ
 平四 電一四〇

内科、小兒科
大森醫院
 醫學士 大森 勇
 平町南町 電話二五八番

自慢の優良品も豚も牛も
三三三屋
 平町 田町
 肉の御 命は
 平町大町若松醫院隣

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
 平町大町 電話五九一番

貸手車
 牛谷
 平町大町若松醫院隣

正確な体温計
 なる寒暖計(各種)
 計量器指定販賣
 平町五丁目
山野邊藥局

産科 婦人科 長木村寅次郎
 外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 立蕃彌一
 平町新川町九一
 入院隨意 病室完備
木村病院
 電話一六四番

洋服は
高島屋
 平町二丁目 電話三八六
 注文並に既製品
 秋物 入荷
 澤山

高島屋洋服店

高久病院
 平町田町 電話五二三番
 院長 醫學士 高久忠

内科、小兒科
 外科、花柳病科
 耳鼻咽喉科
 レントゲン科

最新流行の「流線型」
 お上品な日和下駄、皮製の草履
 お履物は(◆)品が豊富で(◆)値段の安い
 會津桐 **小松履物店**
 自專製門 平警察署通り(電話六七三)

新時代の要求
 附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します
 平町南町 電話三〇七
平看護婦會
 會長 清野キヨ
 御手不足の御家庭輕い御病人の付添妊婦産婦の御家庭

好評 たる各種優秀藥
強力流經劑
 (定價二圓、三圓、五圓、十圓)
治淋新劑トリックス
 (定價二圓、三圓、五圓、十圓)
 Aアイヨ一錠 (定價二圓、六圓、二十圓)
 B トーゲン (定價二圓、三圓、五圓、十圓)
 特約店(平町五丁目通り) **山野邊藥局**

診療科目
 一、齒科 一般
 保存科、補綴科、鑲齒工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿瘍科、レントゲン科
 一、口腔外科
 一、レントゲン科

中野齒科醫院
 院長 日本齒科 中野 惠次
 日本齒科 西川 誠
 醫學士 西川 誠
 平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番